

# 木村俊介 Concert 別つもの、超えるもの betwixt mortality and immortality

「互いの感性が響き合う」という感覚。それは音楽家にとって至福の体験です。

相手の国籍・年齢・出会ってからの時間などは関係ありません。Kitと初めて共演した時も、その感覚に満たされました。

2018年9月。来日ツアー中だった彼を、浦和での自主ライブに招きました。Kitの音楽にはCDや映像で触れていましたが、実際に会ったのはライブ前日。当日の僅かなリハーサルのみで本番に臨みましたが、その豊かな感性、類い稀な表現力、深く美しいピアノの音色に、ステージ上で幾度となく感動したのを覚えています。

コロナ禍もあり、日本での再会まで5年を要しましたが、この間に、それぞれの中で熟成を重ね、変化したものがあるはず。それらが音としてどう表出されるのか。楽しみでなりません。

今回は、完全な即興により音楽を紡いでいきます。

事前に共有するのは、演奏直前に提示される、文学的・観念的テーマのみ。イメージに喚起され、揮われる互いの音の絵筆が、交叉し、重なり、ぶつかり合い、皆様の心のキャンバスに、どんな景色を描き出すのか。

この日、ここでしか体験できない音世界を、ご一緒にお楽しみ頂ければ幸いです。

## 〈笛〉 木村 俊介 Kimura Shunsuke

和楽器奏者(笛・三味線他)として活動する一方、作曲・作詞・音楽監督を行う。自作曲によるコンサートでは、心象風景や心の動きをモチーフとした音楽で独自の世界を展開している。また、日本各地の民俗芸能の旋法・リズムを取り入れた音楽は海外でも高く評価され、これまでに世界5大陸35ヶ国以上の音楽祭に招聘出演している。2020年より、エッセーとCDによる会員制季刊誌「音之文(オトシブミ)」を発行。浦和高校卒、さいたま市在住。《木村俊介 website》<http://insho.kmlw.net>

19年 ◆ JAPAN HOUSE LONDON(イギリス)にて、ピアニストKit Downes氏とDUOコンサート開催。

◆ 小島千絵子氏の記念公演「鼓童『千の舞』」にゲスト出演。

20年 ◆ 加藤木 朗氏(舞踊・太鼓)、坂田美子氏(琵琶・語り)、稲葉美和氏(箏)をゲストに迎え怪談・奇談をテーマに自主公演を行う(さいたま市・名古屋市)。

21年 ◆ 生田さち子氏(ピアノ)、久ちゃん(チンドン太鼓)をゲストに自主公演を行う(さいたま市・長野県山ノ内町)。

22年 ◆ 演劇倶楽部「座」公演「ハーンの面影」(恵比寿エコー劇場)の音楽を担当。

23年 ◆ 越田太郎丸氏(ギター)、柏木宏樹氏(チェロ)をゲストに自主公演「五つの主題による、五篇の実験的即興」を開催(さいたま市)。



## 〈ピアノ〉 キット・ダウンス Kit Downes

ピアニスト、オルガニスト、作曲家。

名門ECMレコードのソロレーディングアーティストであり、BBCジャズアワードの受賞、マーキュリーミュージック・アワードノミネーションに加え、ジャズ音楽雑誌Downbeat誌の評論家による投票ではオルガン・キーボード部門で2度の1位に輝く等、いま世界で最も注目されている音楽家のひとり。

世界各地でパイプオルガンとピアノによるソロコンサートを行う他、スコットランドのフィドル奏者のエイダン・オルーク、ドラマーのセブ・ロックフォード、作曲家のマックス・デ・ウォーダナー、サクソフォニストのトム・チャレンジャー、チェリストのルーシー・レイトン、作曲家でDJのシヴァ・フェジャレキなど、最前線で活躍するアーティストと共演し、自身のバンドENEMY、Troyka、Eltなどでも活躍している。

また、ロンドンのナショナル・シアターで、俳優のブライアン・グラントンが主演した演劇「Network」での演奏など、その活動は多岐にわたる。

作曲家としては、チェルトナム音楽祭、ロンドン現代オーケストラ、スコティッシュ・アンサンブル、ウェルカム・トラスト(以上イギリス)、ビエル・オルガン・フェスティバル、ケルン・フィルハーモニー、リ・ワイヤー フェスティバル(以上ドイツ)等の著名なフェスティバルや会場より委嘱を受け作品を発表している。

また、母校ロンドンの王立音楽アカデミーよりフェローシップを授与され、現在は教鞭をとる。これまでにECMよりアルバム「Obsidian」、「Dreamlife of Debris」、「Vermillion」をリリース。いずれも国際的に高い評価を得ている。

### 【音楽評】

「音楽家としての世界的な地位を示している。」 - ザ・ガーディアン紙

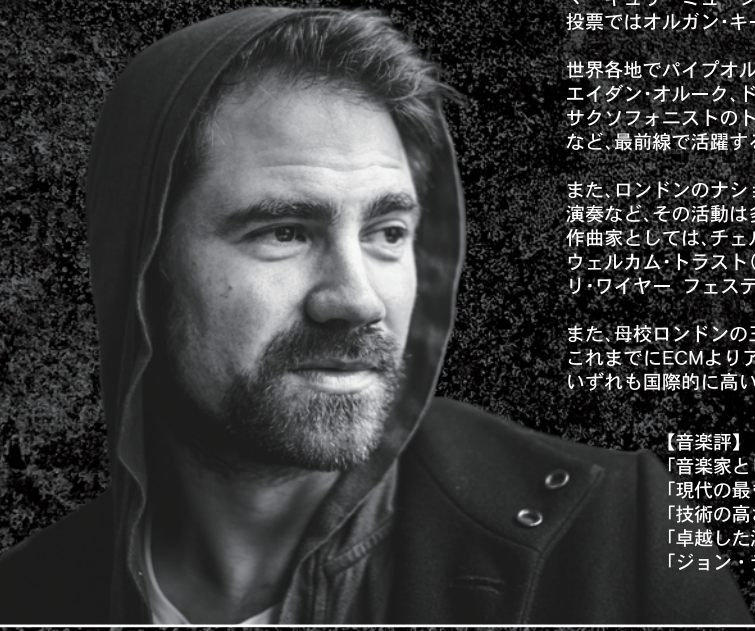
「現代の最も優れたピアニストの一人」 - ジャズワイズ誌

「技術の高さ、流れるような想像力」 - ダウンビート誌

「卓越した演奏家」 - ヴォルムザー・ツァイトラウング紙

「ジョン・テイラー以来のイギリスの最高のジャズピアニスト」 - ハンブルガー・アーベントブラット紙

photo by Juliane Schütz



2023年 12月3日(日) 16:30開場 17:00開演

チケット: 全席自由 ¥ 6,500 音之文会員 ¥ 6,000 [完全予約制]

※当日は、ご予約名簿での受付となります。(紙のチケットはありません。)

入場料は、お名前を書いた封筒に入れて(釣銭のなきよう)ご用意頂き、当日、受付ボックスにお入れください。

ご予約  
お問合せ

【木村俊介】

● Email [insho@sky.plala.or.jp](mailto:insho@sky.plala.or.jp)  
● fax. 048-833-7634 (9~19時)

柏屋楽器フォーラムホール(5階)  
浦和区岸町7-1-9 フォーラムビル5階  
tel. 048-829-2360

JR浦和駅  
西口より  
徒歩7分



※駐車場はありません。近隣コインパーキングをご利用ください。

[企画・構成] 木村俊介 [協力] Mu:Arts (柳沢晶子) [音響] 金曾武彦 [チラシデザイン] maiko